

LANDRiV ver. x.2.0 リリースノート

2011年11月8日

LANDRiV for Nivo バージョン 2.2.0

LANDRiV for Nomad バージョン 4.2.0

LANDRiV for SPS バージョン 2.2.0

株式会社ニコン・トリンプル

内容

LANDRiV 新バージョンリリースのご案内	3
新しい機能 および 改善点	3
LANDRiV for Nivo	3
LANDRiV for SPS	3
LANDRiV for Nivo／Nomad／SPS 共通.....	4

LANDRiV 新バージョンリリースのご案内

下のとおり、LANDRiV の新バージョンをリリースいたしましたのでご案内いたします。

ソフトウェア名	バージョン	対応機種
LANDRiV for Nivo	2.2.0	Nivo H シリーズ
LANDRiV for Nomad	4.2.0	Nivo シリーズ NST-305Cr/307Cr,NST-C1r GF-200N/200/300N/300/400N/400 シリ ーズ (旧モデル) NST-100/200/300N/300 シリーズ (旧モデ ル) DTM-400/500/600 シリーズ (旧モデル)
LANDRiV for SPS	2.2.0	SPS トータルステーション

新しい機能 および 改善点

LANDRiV for Nivo

- フォルダ選択画面から簡単に USB を選択できるようにしました。

LANDRiV for SPS

- TSC3 コントローラに対応しました。
- フォルダ選択画面から簡単に USB を選択できるようにしました。
- 対回観測終了時、正側へ回転するようにしました。

LANDRiV for Nivo／Nomad／SPS 共通

現場管理

- 新規現場作成時、縮尺補正係数が 1.000000 以外の場合、確認画面を表示するようにしました。
また、設計データ中のパラメータを用いて縮尺補正係数を自動計算する機能を追加しました。
- 現場データ用フォルダを My Documents¥LANDRiV に変更しました。
- 最近使用した現場リストの削除機能を追加しました。
- まれに LANDRiV for Nivo v1.x、LANDRiV for Nomad v3.x、LANDRiV for SPS v1.x 以前の現場データを正しく読み込めない場合がありますでしたが、これを改善しました。

初期設定

- 器械設置の既知点設置に、水平／鉛直の距離較差制限値を設けました。
- 縮尺補正係数は表示のみに変更しました。
- 座標リストの表示順番設定を追加しました。

器械設置

- 既知点設置において、後視点観測画面で測距しなくても角度のみで器械設置できるようにしました。
- 既知点設置の器械点の高さを後視点の高さから計算するモードを追加しました。
- 既知点設置において、水平／鉛直の距離較差制限値を超えた場合、警告メッセージを表示するようにしました。

出来形設定

- 断面離れの許容範囲を-100mm～100mm に変更しました。

基本観測

- 基本観測の角度データ記録において、すでに座標で登録された点名が入力された場合、警告メッセージを表示するようにしました。

出来形観測・出来形点検

- 器械設置の制限値を超えた器械設置で来形観測・出来形点検を行おうとすると、警告メッセージが表示され記録できないようにしました。

オフセット測設

- オフセットの幅方向での高低差入力に勾配での入力機能を追加しました。
- オフセット開始位置を「始点」または「終点」から行えるようにしました。

設計データ確認

- 横断データ表示に中心点のオフセット量を表示するようにしました。

測量計算

- 測量計算の結果画面に「誘導」ボタンを追加し、直接誘導作業へ入れるよう改善しました。

路線計算

- 以下の条件の路線において、路線計算を改善しました。
 - 接合点の接線方向角が異なる
 - ピッチ間に複数のブレーキ点がある
 - 幅員中心にオフセットがある

全般

- ★メニューに「メモ登録」を追加しました。
- 測量計算結果などの記録時に、メモ入力画面を表示するようにしました。
- ニコンキーパッドの「削除」「. (小数点)」のボタン幅を広くし、押しやすくしました。
- ヘルプ画面の操作性を改善しました。